



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月3日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 TEL (03)-3231-6811
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	34,473	4.2	4,828	△14.8	4,989	△14.9	2,852	△14.0
22年3月期第3四半期	33,073	13.8	5,668	22.4	5,860	19.2	3,318	0.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	100 78	—
22年3月期第3四半期	117 25	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	85,997	76,216	88.6	2,692 99
22年3月期	85,637	74,641	87.2	2,637 30

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 76,216百万円 22年3月期 74,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	18 00	—	22 00	40 00
23年3月期	—	20 00	—		
23年3月期(予想)				20 00	40 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,200	4.2	1,200	△80.4	1,400	△78.0	700	△80.8	24 73

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期3Q	28,800,000株	22年3月期	28,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

23年3月期3Q	498,051株	22年3月期	497,562株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期3Q	28,302,234株	22年3月期3Q	28,302,758株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

◇ 薬事法その他の法令または規制の変化

◇ 薬価の改定

◇ 副作用の発現

◇ 研究開発に関するリスク

◇ 製造の遅延または休止

◇ 訴訟等のリスク

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の3ページ「1.当四半期の業績等に関する定性的情報（4）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 研究開発活動	3
(4) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第3四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の売上高は、34,473百万円と前年同期に比べ1,399百万円(4.2%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、本年4月に実施された薬価改定の影響を受ける中、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」は後発医薬品の使用促進策の影響もあり4,598百万円と前年同期に比べ1,831百万円(28.5%)減少しましたが、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は6,147百万円と前年同期に比べ1,505百万円(32.4%)増加した他、平成21年3月に販売を開始しました「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は5,342百万円と前年同期に比べ2,880百万円(117.0%)増加しました。

費用面におきましては、売上原価は13,970百万円と前年同期に比べ1,727百万円(14.1%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により15,673百万円と前年同期に比べ512百万円(3.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は4,828百万円と前年同期に比べ840百万円(14.8%)減少し、経常利益は4,989百万円と前年同期に比べ871百万円(14.9%)減少しました。四半期純利益につきましては2,852百万円と前年同期に比べ466百万円(14.0%)減少しております。

なお、当社は、平成23年1月28日に、ALK-Abello A/S(本社：デンマーク、以下「ALK社」と、ALK社が保有するダニを抗原とするアレルギー疾患(喘息およびアレルギー性鼻炎)を対象とした減感作(免疫)療法薬等について、日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結しました。詳細はP.8「3. 四半期財務諸表(6) 重要な後発事象の注記」に記載しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、85,997百万円と前事業年度末に比べ359百万円(0.4%)増加しました。これは、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は12,218百万円、商品及び製品は805百万円減少しましたが、現金及び預金は9,920百万円、受取手形及び売掛金は1,852百万円、有価証券は1,305百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債につきましては、9,780百万円と前事業年度末に比べ1,215百万円(11.1%)減少しました。これは、買掛金は732百万円増加しましたが、未払法人税等が1,074百万円、賞与引当金が515百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、76,216百万円と前事業年度末に比べ1,574百万円(2.1%)増加しました。これは、主に利益剰余金が1,663百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、20,109百万円と前事業年度末に比べ15,297百万円(43.2%)減少しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が4,834百万円、減価償却費が1,037百万円、仕入債務の増加額が732百万円となり、売上債権の増加額が1,852百万円、法人税等の支払額が3,008百万円となったこと等により1,379百万円の収入となりました。(前第3四半期累計期間は2,596百万円の収入)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入が10,500百万円、有価証券の償還による収入が12,873百万円ありましたが、定期預金の預入による支出が23,500百万円、有価証券の取得による支出が13,790百万円となったこと等により15,441百万円の支出となりました。(前第3四半期累計期間は12,549百万円の支出)

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払額が1,188百万円となったことにより1,236百万円の支出となりました。(前第3四半期累計期間は1,163百万円の支出)

(3) 研究開発活動

当第3四半期累計期間の研究開発費の総額は1,653百万円であります。

なお、東レ株式会社および日本たばこ産業株式会社と共同で、「レミッチカプセル」の慢性肝疾患に伴う難治性そう痒症を新たな適応症とする国内第Ⅲ相臨床試験を開始しております。

(4) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年1月28日「業績予想の修正に関するお知らせ」において、同日締結したALK-Abello A/Sとのダニを抗原とするアレルギー疾患を対象とした減感作(免疫)療法薬等に関するライセンス契約における契約一時金の発生に伴う業績予想の修正を公表しておりますが、当第3四半期累計期間の業績を踏まえ、当該予想数値を修正しております。

「レミッチカプセル」「ツルバダ配合錠」の販売状況は計画を上回って推移しておりますが、他の既存製品につきましては計画を下回って推移していることから、売上高は、前回(平成23年1月28日)発表の予想数値を下回る見込みとなりました。

なお、利益面につきましては、販売費及び一般管理費が計画より減少する見込みとなったことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表の予想数値を変更しておりません。

現時点における通期の業績予想数値は、売上高は442億円(対前回予想0.7%減)、営業利益は12億円、経常利益は14億円、当期純利益は7億円を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準等の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であります。特別損失を計上したことにより、税引前四半期純利益は145百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は152百万円であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,092	12,171
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	18,517	30,735
受取手形及び売掛金	18,275	16,422
有価証券	6,003	4,697
商品及び製品	3,303	4,109
仕掛品	654	314
原材料及び貯蔵品	1,382	1,169
その他	1,141	905
流動資産合計	71,369	70,524
固定資産		
有形固定資産	5,857	6,300
無形固定資産	666	676
投資その他の資産	8,103	8,135
固定資産合計	14,627	15,112
資産合計	85,997	85,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,509	3,776
未払法人税等	899	1,973
賞与引当金	597	1,113
役員賞与引当金	37	37
返品調整引当金	3	3
その他	2,619	2,865
流動負債合計	8,667	9,770
固定負債		
退職給付引当金	596	828
その他	516	396
固定負債合計	1,113	1,225
負債合計	9,780	10,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	65,312	63,648
自己株式	△856	△855
株主資本合計	76,061	74,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	155	243
評価・換算差額等合計	155	243
純資産合計	76,216	74,641
負債純資産合計	85,997	85,637

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	33,073	34,473
売上原価	12,242	13,970
売上総利益	20,830	20,502
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,800	2,739
給料及び手当	4,279	4,323
賞与引当金繰入額	465	504
研究開発費	1,178	1,653
その他	6,437	6,452
販売費及び一般管理費合計	15,161	15,673
営業利益	5,668	4,828
営業外収益		
受取利息	148	106
受取配当金	22	23
為替差益	1	2
その他	32	46
営業外収益合計	204	178
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	11	16
営業外費用合計	12	17
経常利益	5,860	4,989
特別損失		
固定資産除却損	22	10
投資有価証券売却損	—	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	143
特別損失合計	22	155
税引前四半期純利益	5,837	4,834
法人税等	2,519	1,982
四半期純利益	3,318	2,852

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,837	4,834
減価償却費	1,024	1,037
受取利息及び受取配当金	△170	△129
支払利息	1	1
固定資産除売却損益(△は益)	23	10
売上債権の増減額(△は増加)	△3,090	△1,852
たな卸資産の増減額(△は増加)	330	251
仕入債務の増減額(△は減少)	△674	732
未払金の増減額(△は減少)	141	△124
その他	455	△522
小計	3,878	4,239
利息及び配当金の受取額	166	148
利息の支払額	△1	△1
法人税等の支払額	△1,447	△3,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,596	1,379
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,500	△23,500
定期預金の払戻による収入	1,000	10,500
有価証券の取得による支出	△2,994	△13,790
有価証券の売却及び償還による収入	1,693	12,873
有形固定資産の取得による支出	△805	△416
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△128	△238
投資有価証券の取得による支出	△814	△900
投資有価証券の売却及び償還による収入	3	8
その他	△4	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,549	△15,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,103	△1,188
リース債務の返済による支出	△58	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,163	△1,236
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,116	△15,297
現金及び現金同等物の期首残高	41,987	35,406
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,870	20,109

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象の注記

当第3四半期会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

(重要な契約の締結)

当社は、平成23年1月28日に、ALK-Abello A/S(本社:デンマーク、以下「ALK社」と)、ALK社が保有するダニを抗原とするアレルギー疾患(喘息およびアレルギー性鼻炎)を対象とした減感作(免疫)療法薬について、日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結しました。また、この契約では、ダニアレルギーの診断薬も対象としており、スギ花粉を抗原とするアレルギー疾患を対象とした減感作(免疫)療法薬の製剤に関する共同研究・開発も行うこととしています。

ALK社は、ダニを抗原とするアレルギー疾患(喘息およびアレルギー性鼻炎)を対象とした減感作(免疫)療法薬に関し、注射剤「Alutard」および診断薬を欧州等で販売しており、現在、錠剤「MITIZAX」を臨床試験中です。また、当社はスギ花粉エキスの舌下投与による減感作(免疫)療法薬の臨床試験を実施しており、今後、ALK社の保有する製剤技術・ノウハウを活用し、より利便性の高い錠剤の開発にも共同で取り組みます。

本契約締結に伴い、当社はALK社に対し契約一時金30百万ユーロと今後の開発の進捗に応じたマイルストーン30百万ユーロ、総額60百万ユーロを支払うとともに、上市後は売上高に応じたロイヤリティと一定の売上高に達した場合の一時金を支払うこととなります。

なお、平成23年3月期において、本契約に基づく一時金30百万ユーロ(約33億円)を研究開発費として販売費及び一般管理費に計上いたします。



2011年3月期 第3四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況	
1. 経営成績	P. 1	1. 四半期貸借対照表 P. 5
2. 財政状態	P. 1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書 P. 7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況 P. 8
1. 四半期損益計算書	P. 2	(参考) 減価償却費 P. 8
2. 製商品売上高	P. 3		
3. 売上原価	P. 4	【予想数値に関する注意事項】 P. 9
4. 研究開発費	P. 4		

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てて表示しております。

2011年2月3日

I. 主な経営指標等の推移

1. 経営成績

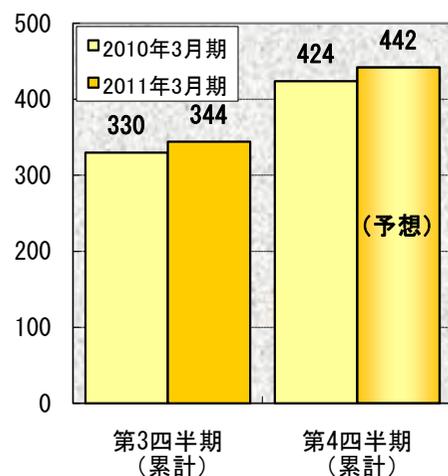
(単位：百万円)

	2010年3月期				2011年3月期		対前年同期増減(率：%)
	第1四半期	第2四半期 (累計)	第3四半期 (累計)	第4四半期 (累計)	第3四半期 (累計)		
売上高	10,748	21,469	33,073	42,416	34,473	1,399	(4.2)
営業利益	1,719	3,494	5,668	6,125	4,828	△840	(△14.8)
経常利益	1,784	3,611	5,860	6,371	4,989	△871	(△14.9)
四半期(当期)純利益	997	2,046	3,318	3,642	2,852	△466	(△14.0)
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	35.25	72.31	117.25	128.69	100.78	△16.47	(△14.0)
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	1.4	2.8	4.5	5.0	3.8	△0.7	—
総資産経常利益率(%)	2.2	4.4	7.1	7.6	5.8	△1.3	—
売上高営業利益率(%)	16.0	16.3	17.1	14.4	14.0	△3.1	—

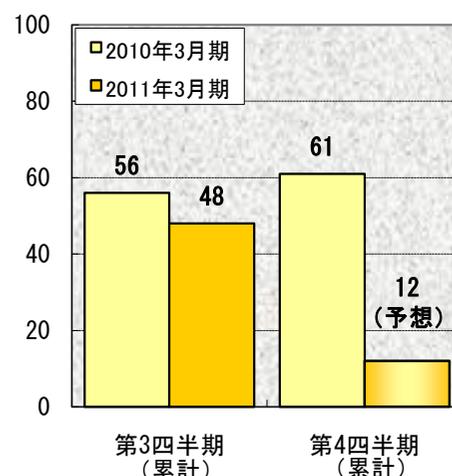
(単位：百万円)

2011年3月期予想※		対前期増減(率：%)
売上高	44,200	1,783 (4.2)
営業利益	1,200	△4,925 (△80.4)
経常利益	1,400	△4,971 (△78.0)
四半期(当期)純利益	700	△2,942 (△80.8)
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	24.73	△103.96 (△80.8)
自己資本四半期(当期)純利益率(%)	—	—
総資産経常利益率(%)	—	—
売上高営業利益率(%)	—	—

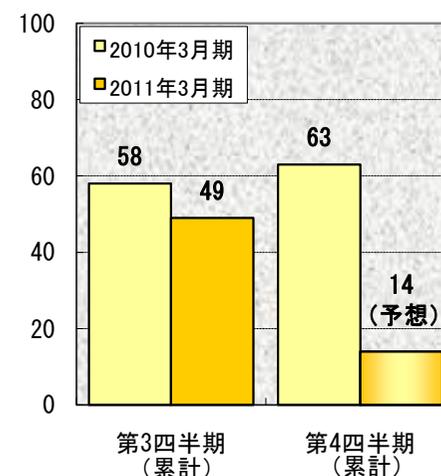
売上高(億円)



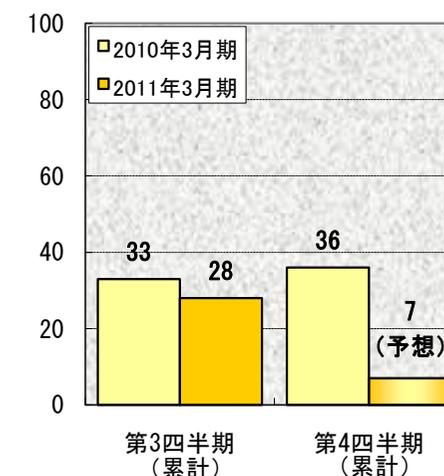
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益(億円)



2. 財政状態

(単位：百万円)

	2010年3月期				2011年3月期		対前期末増減(率：%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期		
総資産	81,467	83,066	84,297	85,637	85,997	359	(0.4)
純資産	72,485	73,558	74,305	74,641	76,216	1,574	(2.1)
自己資本比率(%)	89.0	88.6	88.1	87.2	88.6	1.4	—
1株当たり純資産(円)	2,561.07	2,599.00	2,625.40	2,637.30	2,692.99	55.69	(2.1)

※ 2011年3月期予想につきましては、2011年1月28日公表の予想数値を修正しております。

II. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2010年3月期 第3四半期 (累計)	2011年3月期		2010年 3月期	対前年同期増減要因
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		
売上高	33,073	34,473	1,399 (4.2)	42,416	【製商品売上高】 《増加要因》・ツルバダ配合錠、レミッチカプセルの伸張 《減少要因》・注射用フサンの減少
製商品売上高	32,860	34,290	1,429 (4.4)	42,133	
不動産賃貸収入	213	183	△29 (△14.0)	282	
売上原価	12,242	13,970	1,727 (14.1)	15,984	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加、販売品目の構成変化
製商品売上原価	12,183	13,908	1,724 (14.2)	15,905	
不動産賃貸原価	59	61	2 (5.0)	79	
売上総利益	20,830	20,502	△328 (△1.6)	26,431	【販売費及び一般管理費】 《増加要因》・研究開発費の増加
販売費及び一般管理費	15,161	15,673	512 (3.4)	20,306	
営業利益	5,668	4,828	△840 (△14.8)	6,125	
営業外収益	204	178	△26 (△12.8)	262	
営業外費用	12	17	4 (35.2)	16	
経常利益	5,860	4,989	△871 (△14.9)	6,371	
特別利益	—	—	—	—	【特別損失】 《増加要因》・資産除去債務会計基準の適用に伴う影響
特別損失	22	155	132 (576.1)	30	
税引前四半期(当期)純利益	5,837	4,834	△1,003 (△17.2)	6,340	
法人税等	2,519	1,982	△537 (△21.3)	2,698	
四半期(当期)純利益	3,318	2,852	△466 (△14.0)	3,642	

2. 製商品売上高

(単位：百万円)

(単位：百万円)

品名	2010年3月期 第3四半期 (累計)	2011年3月期		2010年 3月期	2011年3月期予想				
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)		対前期増減(率：%)				
ツルバダ配合錠	抗ウイルス化学療法剤 〔抗HIV薬〕	4,642	6,147	1,505	(32.4)	6,138	7,980	1,841	(30.0)
レミッチカプセル	経口そう痒症改善剤	2,462	5,342	2,880	(117.0)	3,556	6,970	3,413	(96.0)
アンテベート ※	外用副腎皮質ホルモン剤	4,643	4,728	85	(1.8)	5,977	6,100	122	(2.0)
注射用フサン ※	蛋白分解酵素阻害剤	6,429	4,598	△ 1,831	(△ 28.5)	7,863	5,760	△ 2,103	(△ 26.7)
ユリノーム錠 ※	尿酸排泄薬 〔高尿酸血症治療剤〕	2,885	2,649	△ 235	(△ 8.2)	3,626	3,360	△ 266	(△ 7.4)
セロトーン	5-HT ₃ アンタゴニスト(制吐剤)	2,010	1,493	△ 516	(△ 25.7)	2,539	1,900	△ 639	(△ 25.2)
ドボネックス軟膏	尋常性乾癬治療剤	1,328	1,332	4	(0.3)	1,721	1,720	△ 1	(△ 0.1)
ビオスリー	活性生菌製剤 〔整腸剤〕	1,095	1,195	99	(9.1)	1,438	1,510	71	(5.0)
ゼフナート	抗真菌薬	1,141	1,163	21	(1.9)	1,340	1,360	19	(1.5)
ロコイド ※	外用副腎皮質ホルモン剤	933	989	55	(6.0)	1,222	1,290	67	(5.5)
マグセント注	切迫早産における子宮収縮抑制剤	812	926	113	(14.0)	1,015	1,170	154	(15.2)
ウブレチド錠 ※	コリンエステラーゼ阻害薬	1,495	808	△ 687	(△ 45.9)	1,844	1,030	△ 814	(△ 44.2)
その他		2,978	2,912	△ 65	(△ 2.2)	3,847	3,810	△ 37	(△ 1.0)
計		32,860	34,290	1,429	(4.4)	42,133	43,960	1,826	(4.3)

(注) 自社品には、品名に※を付しております。

【参考】	自 社 品 売 上 高	17,769	15,228	△ 2,541	(△ 14.3)	22,338	19,500	△ 2,838	(△ 12.7)
	自 社 品 比 率 (%)	54.1	44.4	△ 9.7	—	53.0	44.4	△ 8.6	—

3. 売上原価

(単位：百万円)

	2010年3月期 第3四半期 (累計)	2011年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
売上高	33,073	34,473	1,399 (4.2)
売上原価	12,242	13,970	1,727 (14.1)
売上原価率(%)	37.0	40.5	3.5 —

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
42,416	44,200	1,783 (4.2)
15,984	18,000	2,015 (12.6)
37.7	40.7	3.0 —

4. 研究開発費

(単位：百万円)

	2010年3月期 第3四半期 (累計)	2011年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
研究開発費	1,178	1,653	475 (40.3)

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
1,613	5,972	4,358 (270.2)

【主な臨床開発品目】

開発名	予定適応症等	開発段階	備考
T0-194SL	スギ花粉アレルギーエキスをを用いた舌下投与による減感作(免疫)療法薬	国内 PhaseⅢ	自社開発
TRK-820 (レミツカフ [®] セル)	慢性肝疾患に伴う難治性そう痒症改善剤(適応拡大)	国内 PhaseⅢ	東レ株式会社および日本たばこ産業株式会社との共同開発

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2010年 3月期	2011年3月期 第3四半期		2010年 3月期 第3四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率：%)		
(資産の部)					
流動資産	70,524	71,369	844 (1.2)	68,970	
現金及び預金	12,171	22,092	9,920	13,324	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	30,735	18,517	△12,218	28,545	【受取手形及び売掛金】 《増加要因》・売上高の増加
受取手形及び売掛金	16,422	18,275	1,852	17,563	
有価証券	4,697	6,003	1,305	3,695	【有価証券】 《増加要因》・債券の取得等
たな卸資産	5,592	5,340	△251	4,900	
その他	905	1,141	235	941	
固定資産	15,112	14,627	△484 (△3.2)	15,326	
有形固定資産	6,300	5,857	△442 (△7.0)	6,379	
建物	3,479	3,327	△151	3,528	
機械及び装置	1,731	1,390	△341	1,652	
土地	702	702	—	702	
その他	387	437	49	495	
無形固定資産	676	666	△9 (△1.4)	606	
投資その他の資産	8,135	8,103	△32 (△0.4)	8,340	
投資有価証券	2,876	3,214	338	2,856	
長期前払費用	3,736	3,309	△427	3,888	
その他	1,554	1,609	55	1,627	
貸倒引当金	△31	△31	0	△31	
資産合計	85,637	85,997	359 (0.4)	84,297	

(注) 「キャッシュ・マネージメント・システム預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

(単位：百万円)

	2010年 3月期	2011年3月期 第3四半期		2010年 3月期 第3四半期
			対前期末増減(率：%)	
(負債の部)				
流動負債	9,770	8,667	△ 1,102 (△ 11.3)	8,702
買掛金	3,776	4,509	732	3,474
未払法人税等	1,973	899	△ 1,074	1,638
賞与引当金	1,113	597	△ 515	595
その他	2,906	2,660	△ 245	2,994
固定負債	1,225	1,113	△ 112 (△ 9.1)	1,289
退職給付引当金	828	596	△ 232	889
その他	396	516	119	400
負債合計	10,995	9,780	△ 1,215 (△ 11.1)	9,992
(純資産の部)				
株主資本	74,398	76,061	1,662 (2.2)	74,075
資本金	5,190	5,190	—	5,190
資本剰余金	6,416	6,416	—	6,416
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416
利益剰余金	63,648	65,312	1,663	63,324
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297
その他利益剰余金				
特別償却準備金	7	6	△ 1	7
別途積立金	58,630	61,130	2,500	58,630
繰越利益剰余金	3,713	2,878	△ 835	3,389
自己株式	△ 855	△ 856	△ 0	△ 855
評価・換算差額等	243	155	△ 88 (△ 36.2)	230
その他有価証券評価差額金	243	155	△ 88	230
純資産合計	74,641	76,216	1,574 (2.1)	74,305
負債純資産合計	85,637	85,997	359 (0.4)	84,297

対前期末増減要因

【未払法人税等】
《減少要因》・法人税等の支払

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2010年3月期 第3四半期 (累計)	2011年3月期		2010年 3月期	対前年同期増減要因
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減		
税引前四半期(当期)純利益	5,837	4,834	△ 1,003	6,340	
減価償却費	1,024	1,037	12	1,409	
受取利息及び受取配当金	△ 170	△ 129	41	△ 219	
売上債権の増減額(△は増加)	△ 3,090	△ 1,852	1,237	△ 1,949	【売上債権の増減額】 《増加要因》・売上高(売掛金)の増加
たな卸資産の増減額(△は増加)	330	251	△ 78	△ 362	
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 674	732	1,407	△ 371	【仕入債務の増減額】 《増加要因》・仕入高(買掛金)の増加
利息及び配当金の受取額	166	148	△ 17	206	
法人税等の支払額	△ 1,447	△ 3,008	△ 1,560	△ 1,459	【法人税等の支払額】 《減少要因》・前年同期：旧土気研究所跡地の売却に伴う法人税負担の減少(評価損の損金算入)
その他	620	△ 635	△ 1,256	1,404	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,596	1,379	△ 1,217	4,998	
定期預金の預入による支出	△ 10,500	△ 23,500	△ 13,000	△ 13,500	
定期預金の払戻による収入	1,000	10,500	9,500	7,500	
有価証券の取得による支出	△ 2,994	△ 13,790	△ 10,796	△ 3,992	
有価証券の売却及び償還による収入	1,693	12,873	11,180	1,693	
有形固定資産の取得による支出	△ 805	△ 416	388	△ 1,067	
有形固定資産の売却による収入	0	0	0	2	
無形固定資産の取得による支出	△ 128	△ 238	△ 110	△ 216	
投資有価証券の取得による支出	△ 814	△ 900	△ 85	△ 814	
投資有価証券の売却及び償還による収入	3	8	5	4	
その他	△ 4	22	26	△ 6	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12,549	△ 15,441	△ 2,891	△ 10,396	
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 0	0	△ 1	
配当金の支払額	△ 1,103	△ 1,188	△ 84	△ 1,103	【配当金の支払額】 《減少要因》・配当金の増加
リース債務の返済による支出	△ 58	△ 46	12	△ 77	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,163	△ 1,236	△ 72	△ 1,182	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 11,116	△ 15,297	△ 4,180	△ 6,580	
現金及び現金同等物の期首残高	41,987	35,406	△ 6,580	41,987	
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	30,870	20,109	△ 10,761	35,406	

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネージメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

IV. 設備投資の状況

(単位：百万円)

	2010年3月期 第3四半期 (累計)	2011年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
有形固定資産(注1)	906	393	△ 512 (△ 56.6)
無形固定資産(注2)	108	193	84 (78.2)
計	1,014	586	△ 428 (△ 42.2)

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
	2010年 3月期	対前期増減(率：%)
1,160	515	△ 645 (△ 55.6)
240	320	79 (33.2)
1,401	835	△ 566 (△ 40.4)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする佐倉工場の製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、主に業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資であります。

(参考) 減価償却費

(単位：百万円)

	2010年3月期 第3四半期 (累計)	2011年3月期	
		第3四半期 (累計)	対前年同期増減(率：%)
不動産賃貸原価	33	30	△ 3 (△ 9.0)
販売費及び一般管理費	331	353	21 (6.4)
製造費用	659	653	△ 5 (△ 0.9)
計	1,024	1,037	12 (1.2)

(単位：百万円)

2010年 3月期	2011年3月期予想	
	2010年 3月期	対前期増減(率：%)
43	40	△ 3 (△ 9.0)
455	489	33 (7.4)
910	883	△ 26 (△ 2.9)
1,409	1,412	3 (0.2)

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク